

スポじんサロンご案内

今回は、石川県金沢市での開催です。
雪による障害も徐々に解消に向かっていきます。
関心とお時間のある方には、是非足をお運びください。
県外の皆様には、美味しい北陸の味覚を堪能するチャンスです。

このサロンでは、地下鞠の実演と体験を企画しております。
楽しい時間になることを確信しています。

「地下鞠の復元ワークショップ」

阿羅 功也

金沢大学大学院人間社会環境研究科
金沢星稜大学 助手

日時：3月2日（金）午後2時から4時
場所：金沢大学人間社会第2講義棟103講義室
920-1192 金沢市角間町
<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/access/>

8世紀に日本へ伝来した「蹴鞠」は、貴族の遊戯として発展した。江戸時代、鎖国のための諸政策も完了して安定を迎えた生保年間(1644-1647)に入ると、蹴鞠は富裕な町人層が愛好するまでに拡大し、大衆化が進行した。この大衆化された蹴鞠を「地下鞠」と呼ぶ。数を蹴上げることが目標とした地下鞠は、数の追及した結果、どんなところに飛んでも鞠を上げられる技術へと高度化し、アクロバティックな技術も現れるようになった。

このワークショップでは、歌川国芳が描いた「流行 猫の曲鞠」（1841）をサンプルとして、地下鞠の動きと技術の再現を目指して開催する。

大勢の方に、ご参加を呼びかけます。

お問い合わせ 佐川哲也（金沢大学人間社会研究域・教授）

sagawa@ed.kanazawa-u.ac.jp

ご参加を希望される方には、ご一報いただきますと大変助かります。